

(様式4)
令和7年2月27日

令和6年度 第3回 大阪市立堀江小学校 学校協議会 実施報告書

校園名 大阪市立堀江小学校
校園長名 高橋 純一

日 時	令和7年2月25日(火)			
場 所	大阪市立堀江小学校 東学舎 2階 西会議室			
出席者	委員など	増村 孝(会長) 田上 治雄(副会長) 亀澤 芳美(委員) 木元 篤子(委員) 川村 太一(委員) 横田勝一郎(中学校長)		
	校園	高橋 純一(校長) 古川 美佐子(副校長) 宮本 純(教頭) 高島 智彰(教頭)		
	区役所	藤本 学(教育課長代理)		
議題	(1) 令和6年度 「運営に関する計画」の最終評価 (2) 学校の状況(子ども関係・保護者関係) (3) その他			
協議要旨	協議の結果		意見の概要	
	(1)	○「令和6年度運営に関する計画」最終評価について、全員一致で承認された。	○いじめアンケートの「いじめられている」という数字が低学年で高くなっている。いじめ問題に取り組んでいくためには、教職員が同じ方向を向き、学校・学年全体みんなで取り組んでいくようとする。いじめはなくならないが、100%なくすることをめざさなければならない。 ○運動能力の低いところは毎年話題としてあがっている。渡り廊下もできたので、中学校との共用運動場での体育指導を充実してもらいたい。運動能力は何か一つでも上回ればよいのではないか。	
	(2)	○子ども関係について理解が得られた。	○スマートフォンの使い方については、子どもたちにとって生まれたときから身近にあったものなので、時間などで制限するのではなく、使い方を教えることが大切ではないか。	
	(2)	○教育活動について理解が得られた。	○避難訓練の充実が述べられていたが、登下校時のこととも考えられているか。登下校時については(大阪北部地震を例に)、学級指導の際に指導している。	
	(3)	○その他の内容について理解が得られた。	○他国では、パソコンを主流にしていた教育から、再び紙での学習に戻ってきている。どちらも大切である。子どもの興味・関心を引きつけられるよう日々教育してほしい。	

		○プログラミング教育の重要性が増してきている。子ども会でも取り入れる。小学校でどのようにされているか。小学校では、プログラミング思考が求められている。これから先、大切になってくる考え方である。
協議資料	<ul style="list-style-type: none"> ① 令和6年度「運営に関する計画」の最終評価 ② いじめアンケート ③ 生活指導に係る調査 ④ 保健関係の基礎データ（校内事故・欠席調査等） ⑤ R6教育活動アンケート（児童用・保護者用） ⑥ 授業力について（保護者アンケート・令和6年12月実施） ⑦ 令和6年度「全国体力・運動能力・運動習慣等調査」結果検証 学校の概要 ⑧ その他（保護者向け教育活動アンケート・地域・一般の方からのご意見） 	
備考	傍聴者[0]名	